

令和3年度 訪問教育テーマ一覧

※●は教員対象

講座番号	教員の所属	教員名	分類	タイトル	概要	実施回数制限	対象	小	中	高	備考
1	システム	八田 章光	理科実験	天然ダイヤモンドと人工ダイヤモンド	最高の宝石である天然のダイヤモンドは地中深いところで生まれる。今や人類は、天然よりも優れた性質の、本物のダイヤモンドを、人工的に合成することができるようになった。ダイヤモンドはどのようにして人工的につくることができるのか、宝石以外にどんな使い道があるのか、など、人工ダイヤモンドの実物に触れながら簡単な実験（ダイヤモンドで氷を切る）を行って説明する。	4テーマで 合計5回	小学生中学生 高校生	○	○	○	スクリーンとプロジェクターが必要。去年と同じ学校に同じ講座（内容）の授業はしない。
2	システム	八田 章光	理科実験	紫外線とブラックライト	地球上オゾンホールができて、紫外線の増加が問題となっている。冷蔵庫を捨ててはいけない、というのはこれが理由。紫外線とはどんなものか？その性質について説明し、紫外線を放射するブラックライトを使って実験を行う。（実験には暗室が望ましい）	4テーマで 合計5回	小学生中学生 高校生	○	○	○	スクリーンとプロジェクターが必要。去年と同じ学校に同じ講座（内容）の授業はしない。
3	システム	八田 章光	環境実験	エネルギーと地球環境	エネルギーをたくさん使うとCO2が発生し、地球環境がますます悪くなる。人類が幸せに暮らしていくためにどうすれば良いか、太陽光発電や風力発電によって問題は解決できるのかどうか、一緒に調べ、考える。人力発電を体験し、エネルギーの基本的な単位、ジュールとかワットの意味を知る。	4テーマで 合計5回	小学生中学生 高校生	○	○	○	スクリーンとプロジェクターが必要。去年と同じ学校に同じ講座（内容）の授業はしない。
4	システム	八田 章光	理科環境	原子力と放射線	二酸化炭素排出による地球温暖化を抑制するため、ここ数十年の当面の策として原子力発電が有望視されてきたが、震災による深刻な原発事故を経験した今、我々はどういうように原子力を扱い、これからどのように原子力と付き合っていけばよいのか、もはや我々の誰もが逃げることでできない現実の課題である。原子力と放射線についてまず大人が、教員が、正しい知識を持ち、何が危険であって、危険を回避するにはどうすればよいのか、理解することが重要である。原子力と放射線について、理科を専門としない教員や高校生を対象としてわかりやすく解説する。	4テーマで 合計5回	高校生 または中学校・高校の教員（校内研修）		●	○ ●	スクリーンとプロジェクターが必要。去年と同じ学校に同じ講座（内容）の授業はしない。
5	システム	高木 方隆	社会（地理）環境	これからの里山暮らし	人口減少が著しい地方では、限界集落や耕作放棄地が問題となっています。生活が不便な山間部は、自然資源が豊富なのに、それが活かされていません。高知工科大学では、有用植物に関する調査・研究を通して、里山での新しい暮らし方ができるのではないかと、検討を始めました。発展途上国や四国での植物調査結果の状況と、里山再生についての活動実績をお話ししながら、今後の里山暮らしの方向性について、みなさんと共に考えたいと思います。	なし	中学生高校生		○	○	スクリーンとプロジェクターが必要。
6	システム	高木 方隆	理科環境	宇宙技術で地球を測る	現在、様々な人工衛星が活躍しています。人工衛星の中には、地球を観測する目的で打ち上げられたものもあり、地球観測衛星と呼ばれています。地球観測衛星は、地球環境に関する情報を取得したり、災害の監視に使われたり、資源を探査したりしています。そこで、日本の宇宙技術の状況とともに、実際に取得されたデータをもとに地球観測衛星の活躍ぶりについて解説します。	なし	中学生高校生		○	○	スクリーンとプロジェクターが必要。
7	システム	高木 方隆	理科環境	モンゴルでの現地調査を通して環境問題を考える	人工衛星は、地球環境の監視に役立てられています。そして人工衛星による解析精度を向上させるには現地調査が重要です。我々は、過去にモンゴルの半砂漠地域において、現地調査を行ってきました。非常に過酷な現地調査でしたが、調査結果以外にも得るものはたくさんありました。その経験をお話ししながら、環境問題の根源について皆さんと一緒に考えたいと思います。	なし	中学生高校生		○	○	スクリーンとプロジェクターが必要。
8	システム	高木 方隆	キャリア教育	仕事って何だろう？	就職担当として、学生を指導してきました。その活動を通して、しっかりとした将来の目標を持つ学生は、良い就職をしているように感じています。一方で、目標があったとしても変なごだわりのある学生は、なかなか就職が決まらないことも見えてきました。本講義ではまず、仕事をすることは、対価が得られるだけでなく、社会貢献に繋がるすばらしいことであることをお伝えします。その後、個人個人がどのような将来の目標を持つべきか、参加者の皆さんとともに考えて行きたいと思っています。	なし	中学生高校生		○	○	

令和3年度 訪問教育テーマ一覧

※●は教員対象

講座番号	教員の所属	教員名	分類	タイトル	概要	実施回数制限	対象	小	中	高	備考
9	システム	山本 真行	理科物理	謎の発光現象を見る！	夜空を切り裂く流れ星、緑に輝くオーロラ、そして謎の光スプライト。世界各地で長年謎の発光現象の観測に関わってきた経験から、宇宙と地球の不思議、生命環境を守る地球のシステムについてお話しします。謎を探るため高校生たちと進めている共同研究についても紹介します。	2回	小学校高学年 優先～中学生	○	○	○	授業定員は100名程度で、50～60分授業。2時間分を使って深く掘り下げられることもできます。難易度に関しては応相談。※11月、12月は対応不可
10	システム	山本 真行	理科物理	はやぶさ帰還観測に参加して	2010年に様々な困難を乗り越えて地球帰還を果たしたJAXA「はやぶさ」探査機。そして2020年には「はやぶさ2」カプセルの地球帰還を観測しました。オーストラリアでの「はやぶさ」帰還観測への参加経験を紹介します、我々の地球がどのように生まれたかを考えます。 NASAやJAXAと共同で進めている宇宙実験の様子や、宇宙開発の未来像についても紹介します。	2回	小学校高学年 優先～中学生	○	○	○	授業定員は100名程度で、50～60分授業。2時間分を使って深く掘り下げられることもできます。難易度に関しては応相談。※11月、12月は対応不可
11	システム	山本 真行	理科物理	聞こえない音「インフラサウンド」を聞く～津波防災に向けて～	2011年3月11日、想像を絶する津波が日本を襲う様子をアメリカ滞在中のニュースで知りました。被害を少しでも減らす工夫にいま多くの研究者が取り組んでいます。謎の音「インフラサウンド」が津波などの大規模災害による被害軽減に役に立つかもしれません。そんな新しい研究を紹介します。	2回	小学校高学年 優先～中学生	○	○	○	授業定員は100名程度で、50～60分授業。2時間分を使って深く掘り下げられることもできます。難易度に関しては応相談。※11月、12月は対応不可
12	システム	山本 真行	理科工作	はかせにきてみよう！～光と電波のなぜ？～	光や電波に関する疑問にお答えします。事前に児童・生徒からの質問を送ってもらい、全員の質問に1人1問ずつ答えたいと思います。身近にあるモノから宇宙まで、こんなにも使われている光や電波の正体を探ってみませんか？簡単な工作も実施します。	2回	小学生高学年 (親などの参加可) 優先～ 中学生	○	○		授業定員は50名を基本とし、時間は50分授業×2時間とします。PTAなどの手伝いがある場合は人数は増やせます。難易度に関しては応相談。※11月、12月は対応不可
13	システム	山本 真行	理科物理	はかせにきてみよう！～宇宙と地球のなぜ？～	宇宙や地球に関する疑問にお答えします。事前に児童・生徒からの質問を送ってもらい、全員の質問に1人1問ずつ答えたいと思います。普段は遠い世界と考えている宇宙や、私たちの住む地球や隣の惑星の世界、ロケットや人工衛星などの宇宙技術について考えてみませんか？	2回	小学生高学年 (親などの参加可) 優先～ 中学生	○	○		授業定員は50名を基本とし、時間は50分授業×2時間とします。PTAなどの手伝いがある場合は人数は増やせます。難易度に関しては応相談。※11月、12月は対応不可
14	システム	稲見栄一	理科物理	原子1つひとつから組み立てる究極のモノづくり	近年「ナノテクノロジー」という言葉を耳にすることが多くなりました。「ナノ」とはナノメートル(10億分の1メートル)という非常に小さな長さの単位を指します。ナノの世界では、身の回りにある物の性質が変化したり、私たちの感覚では考えられない不思議な現象が起こります。ナノテクノロジーは、このような非常に小さな世界で、物質を自在に操り、それを様々な産業で応用するための技術のことです。授業では、このようなナノテクノロジーの面白さと併せて、「走査プローブ顕微鏡」と呼ばれる特殊な装置で原子1つひとつから物質を組立てる最先端の研究(究極のナノテクノロジー)を紹介します。	なし	中学3～高校3 年生		○	○	時間 50分 制限人数：なし 希望時期：9-11月以外 スクリーンとプロジェクターが必要。専門的な内容を極力省いて、「ナノテクノロジーの面白さ」を伝えることに重点をおきます。講義を通じて児童生徒が物理や化学に興味をもち、学習意欲を高める機会にできればと考えています。
15	システム	星野 孝総	理科工作・実験	虹ができる箱を作ろう！～分光器の製作～	CD-ROMの破片と紙をつかって、分光器を作成します。虹色の光スペクトルを見ることが出来ます。 蛍光灯やさまざまな色のLEDを観測して、回りの光の成分を調べてみます。 製作した分光器を持ち帰ることが出来ます。	2回	小学校高学年 中学生 高校生	○	○	○	1回の講演時間：50分×2 スクリーンとプロジェクターが必要。ナイフを扱うので、けがなどの対応ができること。 ※定員は20名まで
16	システム	星野 孝総	理科工作・実験	2足ロボットを作って、歩く動作を考えてみよう。	レゴのキットを使って、2足受動歩行器を作ります。坂を使って歩行することを学び、日常にある位置エネルギーと運動との関係を学習します。ロボットの製作は簡単です。持ち帰ることはできません。 ※オプションで2名だけ竹ひご・消しゴム・クリップの2足受動歩行器を作成して持ち帰ることが出来ます。	2回	小学生中学生 高校生	○	○	○	1回の講演時間：50分×2 スクリーンとプロジェクターが必要。 ※定員は20名まで
17	システム	星野 孝総	理科工作・実験	ふわふわハートなぜ回る？ 磁石と電気の見えない関係を学んでみよう。	針金・電池・磁石でふわふわ回るハートのモーターを作ります。電気と磁石について学びます。電気と磁石が目に見えない糸でつながっているお話をして、モーターの仕組みを説明します。作品を持ち帰ることが出来ます。	2回	小学生中学生 高校生	○	○	○	1回の講演時間：50分×2 スクリーンとプロジェクターが必要。 ※定員は20名まで

令和3年度 訪問教育テーマ一覧

※●は教員対象

講座番号	教員の所属	教員名	分類	タイトル	概要	実施回数制限	対象	小	中	高	備考
18	システム	星野 孝総	理工工作・実験	ペットボトルをつかって、Xジャイロをつくって飛ばしてみよう。	ペットボトルを使って、ピューーーンと空中を飛ばすXジャイロを作ります。どうしたらよく飛ばようになるのでしょうか？なぜ飛ばのでしょうか？色々考えながら作って飛ばして実験します。	2回	小学生中学生 高校生	○	○	○	1回の講演時間：50分×2 スクリーンとプロジェクターが必要。ナイフを扱うので、けがなどの対応ができること。 ※定員は20名まで
19	システム	星野 孝総	理工工作・実験	釣り糸で光を曲げる！ 作ってLED光ツリーを作ってみよう！	光はまっすぐ進む性質があります。LEDから出てくる光もまっすぐ進みます。釣り糸の中に光を通すと光を曲げることができます。釣り糸をつかって光ツリーを作ったLEDの光を曲げる実験をしてみよう！作品を持ち帰ることができます。	2回	中学生高校生	○	○	○	50分 スクリーンとプロジェクターが必要。暗室が必要。 ※定員は20名まで
20	システム	星野 孝総	理科講義	電気と光と人の生活	電気と光は身近にありますね。光は太陽からの贈り物！家の灯は電気ので光を発しています。太陽光発電も一般化してきてよく耳にします。でもその関係を実感できないことが多いです。そこで、電気と光の関係を目の前で実験しながら解説します。	2回	中学生高校生		○	○	1回の講演時間は50分×1～2回 スクリーンとプロジェクターが必要。
21	システム	川原村 敏幸	理科	微小液滴の物理 発生法・活用法	空中に浮遊する微小液滴は、非常に興味深い挙動をします。たとえば、吹き付けると表面を濡らすことができます。その一方でガスのように搬送することもできます。また雲をイメージして頂いたら分かると思いますが、ちょっとした雰囲気の変化で気化したり逆に凝結して液体になる様なこともあります。まさにその物理は不思議に満ちあふれています。そのような不思議な物理を有する微小液滴を我々は社会生活の至る所で活用しています。講義では、微小液滴を人工的に発生する方法や活用している技術について紹介します。	なし	多少話のレベルが高めですので、中学・高校生にお勧めします。		○	○	50分 スクリーンとプロジェクターが必要。
22	システム	川原村 敏幸	理科	セラミックスについて	我々の生活に欠かせないセラミックス。人類がどのように活用し、どのように利用してきたか。セラミックスと他の材料の違い等について説明します。	なし	多少話のレベルが高めですので、中学・高校生にお勧めします。		○	○	50分 スクリーンとプロジェクターが必要。
23	システム	川原村 敏幸	理科	熱とは何か？	我々の生活を支えている熱機関についてその歴史とともに紹介します。またその発展と共に分かってきた熱に関する物理を紹介します。	なし	多少話のレベルが高めですので、中学・高校生にお勧めします。		○	○	50分 スクリーンとプロジェクターが必要。
24	システム	川原村 敏幸	環境	エコな取り組みっていったいどういうこと？	太陽から地球に降り注ぐエネルギー量はいかほどか？再生可能エネルギーとは何か？そもそもカロリーとはどれぐらいのエネルギー量なのか？身近な例を比較しながら、エコ活動にとって大切なものが何かを改めて考え直してもらおうと思います。	なし	小学校6年生以上	△	○	○	50分または90分 スクリーンとプロジェクターが必要。
25	システム	荻野 要介	理科学	大気圏突入の科学	打ち上げロケットに乗って宇宙空間まで達した飛行士はカプセル型宇宙機に乗って地球へ帰ってくる。宇宙飛行士の命を運ぶ移動手段として非常に大事な宇宙機の特徴や、その開発に必要なことはなにかを簡単にお話ししたいと思います。	1回	中学3年生～高校生		○	○	50分 なるべく1学期、プロジェクタとスクリーン
26	システム	西内 裕晶	交通	身近な交通問題とその対策	自動車や自転車、公共交通など、交通はみなさんにとって大変身近な存在です。一方で、交通渋滞や交通事故、地方では公共交通の維持など、交通は、社会全体にとって極めて重要な課題も抱えています。これらを改善するために、交通の現象を観測するための様々な技術が開発され、観測されたデータを活用して交通や社会全体を良くしようとする方策が考えられています。本講義では、交通現象の観測技術や応用技術を紹介しながら、今後の交通のあり方をみなさんで考えていきたいと思っています。	なし	小学生中学生 高校生	○	○	○	50分または50分×2 スクリーンとプロジェクターが必要。

令和3年度 訪問教育テーマ一覧

※●は教員対象

講座番号	教員の所属	教員名	分類	タイトル	概要	実施回数制限	対象	小	中	高	備考
27	システム	満田 愛	社会 /地理	誰が「まち」をつくるのか？	主に以下の構成で実施します。身近な都市の魅力に気づく力を養い、「まち」や「地域」の本質とは何なのかを共に議論したいと考えます。 1. 都市空間の読み解き方：建物の形状のコントロールや内部の使われ方により、都市空間が生成される原理を解説します。 2. さまざまな「まち」の主体：実際の「まちづくり」の事例をいくつか紹介し、学生自身が「まち」に主体的に関わるきっかけや方法を議論します。	なし	高校生				50分または50分×2 スクリーンとプロジェクターが必要。 受講生の制限人数：30名前後
28	環境理工	百田 佐多生	理科実験	放射線の正体と性質	放射線は目には見えず触ることもできないので、ニュースなどで紹介されても実感が持てない人が多いと思います。放射線は強い透過能力を持つので、厚い物質でも軽々と通り抜けることができます。この性質を利用すれば、建物や体の内部を、表面に傷をつけることなく見ることができます。この授業では、簡単な実験を交えながら“放射線”の正体と性質について学びます。	2回	小学生中学生	○	○		授業定員は50名で、プロジェクターとスクリーンの用意が必要。
29	環境理工	百田 佐多生	理科実験	放射線：利便性とリスク	放射線は、五感で感じる事ができない不思議な存在で、他の物質にはない特殊な性質を持っています。科学技術の発達によって、私たちはその性質を利用して生活を便利にしてきました。その反面、誤った取扱いや災害・事故によって、周囲の環境に大きい被害を与えることもあります。この授業では、簡単な実験を交えた“放射線”の性質や、原発事故が地域生活や産業に与えた影響について説明します。	2回	中学生高校生		○	○	授業定員は50名で、プロジェクターとスクリーンの用意が必要。
30	環境理工	古田 守	理科	光のエネルギーと太陽光発電	光のエネルギーとそれを電気エネルギーに変換する太陽電池の原理と現状に関して紹介します。 現状の太陽電池は太陽光エネルギーの2割程度を電気エネルギーに変換可能ですが、その変換効率を制限している要因や対策についても紹介します。	2~4回	高校			○	50分 または 50分×2
31	環境理工	堀澤 栄	理科 生物	菌類のふしき	私たち人間とはまったく違った世界に暮らす菌類について、その生き方の驚きに満ちた多様性の世界を案内します。講演者の専門であるキノコについても、生物的な役割や機能を紹介します。	なし	小学生中学生 高校生	○	○	○	50分 × 1~2 回 スクリーンとプロジェクターが必要。
32	環境理工	堀澤 栄	理科 生物	木のひみつ	どうしてあんなに高く育つ？ 本当は何百年も生きるの？ 身近な植物なのにひみつがいっぱいの樹木について、その生物としての特徴と再生可能な資源としての利用、環境保全についての恩恵をお話します。	なし	小学生中学生 高校生	○	○	○	50分 × 1~2 回 スクリーンとプロジェクターが必要。
33	環境理工	新田 紀子	理科	ナノ・マイクロの世界をのぞいてみよう	電子顕微鏡でのぞいた世界を紹介します。	なし	小学生 中学生 高校生	○	○	○	50分 今年度はzoomを利用したオンライン授業のみです。インターネットにつながったPCがあり、zoom画面をプロジェクターに投影できる学校のみです。
34	環境理工	伊藤 亮孝	理科	光と色のふしぎ	普段あまり意識することはありませんが、私たちのまわりには光が満ち溢れています。また、身のまわりのものに色がついて見えていることにも光が密接に関係しています。光や色の混合や分解、変化を通して、それらの性質に触れてみましょう。実際に光がどんなところで活躍しているかについても紹介します。	なし	小学生中学生 高校生	○	○	○	50分 (小・中・高校) または 50分×2 (高校のみ) 一部PowerPointやカメラによる卓上の映し出しを使用します。スクリーンとプロジェクター、電源(PC・プロジェクター用)が必要(プロジェクターは持参も可能)。少し暗くすることができる部屋だと、演示をより鮮明に見ることができます。校種により若干内容を変更します
35	環境理工	伊藤 亮孝	理科化学	光と分子で拓く科学技術	私たちの身のまわりには「光」に関連する技術がたくさんあります。光の性質から始め、光の科学技術について学びましょう。またこれらの技術をより良いものにするために、「化学」の力を使ってどのような努力がなされているかについても紹介します。	なし	高校生			○	50分、50分×2 どちらも可 スクリーンとプロジェクター、電源(PC・プロジェクター用)が必要。

令和3年度 訪問教育テーマ一覧

※●は教員対象

講座番号	教員の所属	教員名	分類	タイトル	概要	実施回数制限	対象	小	中	高	備考
36	情報	福本 昌弘	情報	新しいインターネットで何ができる？	近頃とても身近になった情報ネットワークは急速な発展を遂げており、私達の生活に不可欠なものになってきています。新世代の情報ネットワークを想像するための国家的な実験プロジェクト「JGN-X」などを例にして、世界最先端の情報通信技術と未来のインターネットについて紹介します。この授業で情報通信技術をはじめ新しい技術への興味を少しでも高めてもらい、学校で勉強をしていくことの意義を伝えていきたいと思います。	なし	小学校高学年 中学生 高校生	○	○	○	30分～90分授業
37	情報	福本 昌弘	情報	音と空間を操る信号処理	普段何気なく聞いている映画やテレビなどの音声に違和感を感じている人も多いと思います。これは音が空間を伝わるうちに変化することから起きるもので、この影響を取り除いたり、新たに創り出したりすれば、より臨場感に溢れる映像と音響を楽しむことができます。空間の特性を操って自在に音を再現するための仕組みを紹介しましょう。	なし	小学校高学年 中学生 高校生	○	○	○	30分～90分授業
38	情報	福本 昌弘	情報	身の回りの情報理論	携帯電話やテレビのデジタル放送だけではなく、バーコードや様々な記号など、身の回りには情報理論を応用したものがたくさんあります。これらの仕組みを知ること、世の中に氾濫している情報や道具をより快適に使いこなすことができるはずです。そのためのコツを紹介します。	なし	中学生高校生		○	○	30分～90分授業
39	経済・マネジメント	西條 辰義	フューチャーデザイン	フューチャーデザイン： 仮想将来人になってみませんか	気候変動、生物多様性の崩壊、政府の巨額な債務などを考えるとき、今の社会の仕組みのままでは、私たちは持続可能な自然と社会を将来世代に残すことができるのでしょうか。今の社会の仕組みに問題があるとすれば、どのような社会の仕組みをデザインすればよいのでしょうか。今をがまんし、将来世代の人々が良くなることで、「しあわせ」になれることを「将来可能性」とよびましょう。私たちの将来可能性をアクティベートするひとつの試みが、タイムマシーンで将来にいき、そこから現在を考え直すという手法です。皆さんも仮想将来人になって今を考え直しませんか。	なし	小学生中学生 高校生	○	○	○	50分または50分×2
40	経済・マネジメント	都築 五明	総合	だまされなぞ！ 論理的に考えて、事実をつかむ。	相手の話がなんとなくスッキリしないのに、そんなものかと思ってしまった時に、論理的に考えて、どこがおかしいのか正しく理解することができるようになります。一見もっともらしく真実として語られていることが本当なのか、いま自分が話していることは本当に自分の意見なのか？事実を把握し、自分で考えたことを話せることをめざします。	なし	中学生高校生		○	○	50分 プロジェクターとスクリーンが必要。 (プロジェクターは持参可能)
41	経済・マネジメント	都築 五明	総合	いつか君は決断する。 そのときどう決めるか！	人生では状況に応じた判断が必要になります。未来が不確実で、変化が早いと言われている時代に、正しく判断し、行動するためには、どのように考えればいいのかをグループワーク形式で学びます。他人から聞いた経験上うまく言ったという話を鵜呑みにすると、あとで大変なことになることもあるでしょう。自分で考えて、決める！ことを学びます。	なし	中学生高校生		○	○	50分（授業が続けて行える場合は50分×2） プロジェクターとスクリーンが必要。 (プロジェクターは持参可能)。 航空機の墜落のケースを用いますので、過去に似たケースを取り上げたことがある場合や、事故の話題に触れたくない場合は、ご遠慮ください。
42	経済・マネジメント	都築 五明	総合	使える面接術！	面接は、覚えてきたことを説明する場ではありません。面接官を前に話すプレゼンテーションです。相手に自分という商品をどのように気に入ってもらえるか、分かりやすく、気に入ってもらえるようなコツを少し知るだけで、とても上手にできるものです。自己紹介からあなたが主役です。	なし	中学生高校生		○	○	50分 プロジェクターとスクリーンが必要。 (プロジェクターは持参可能)
43	経済・マネジメント	都築 五明	総合	3倍素敵に見える プレゼンテーション術！	人前で話すプレゼンテーションは、コツがあります。相手に聞いてもらいたいことを明確にし、分かりやすく、共感してもらえるように伝えるだけで、とても上手に見えるものです。自分も楽しみながら、素敵な発表をみなさんに聞いてもらえるようになります。	なし	中学生高校生	○	○	○	50分 プロジェクターとスクリーンが必要。 (プロジェクターは持参可能)。

令和3年度 訪問教育テーマ一覧

※●は教員対象

講座番号	教員の所属	教員名	分類	タイトル	概要	実施回数制限	対象	小	中	高	備考
44	経済・マネジメント	渡邊 泰	総合	世界を知る、海外で活躍する 【1回目】世界のデータを見る（「Factfulness」を使って） 【2回目】地球環境について（SDGsの話） 【3回目】海外で仕事をした経験（体験談） 【4回目】世界に誇れる日本の企業（特に四国の企業など紹介）	コロナ禍で海外旅行ができなくなっている昨今、世界では今どんなことが起こっているのか。正確なデータや情報に基づき、世界について正しく理解する。海外駐在した経験に基づき、海外での生活や仕事を通じた生の経験談（成功事例、失敗事例など）をお話することで、海外で仕事をすることのダイナミズムとエキサイトメントを伝える。 日本の企業（特に四国の企業）で、「世界一」を誇る技術やサービスを提供している企業を紹介し、日本人も世界でもっと活躍できることを実感してもらおう。子供達に、一度きりの人生をもっと輝いたものにしてもらいたい、その為にも世界に目を向けて、もっと大きな夢を持ってもらいたい、というメッセージを伝える。	全部で4回 (個別も可能)	小学校高学年、中学生、高校1年	○	○	○	50分授業または50分授業×2回 (Powerpointを使ったスライド講義のため、プロジェクターか大画面モニターを希望) (講義内容は希望があれば、校種や学年別などで適宜変更可能) (回数も大学の講義に支障がない範囲での増減可能)
45	経済・マネジメント	山田 篤司	総合	夢のたべ方	あなたには今、夢や目標はありますか？今はないとしても、過去に追いかけていた夢はあるのではないのでしょうか。？夢や目標がなくても、人生を楽しく過ごすことはできます。しかし夢や目標があれば、もっと充実した人生を送ることができるかもしれません。一方で、夢や目標がかなわなければ、つまらない人生だと感じることもあるでしょう。私たちは、どのように夢や目標に向き合い、どのように対処すればいいのでしょうか。一緒に考えてみましょう。	なし	中学校・高校 全学年		○	○	50分授業または50分授業を連続2回 (プロジェクターおよびスクリーン) ※プロジェクターは持参も可能
46	経済・マネジメント	山田 篤司	総合	あなたはなに主義？	世の中には、正解が出ない、またはどれも正解、という問題がたくさんあります。その違いは、今までの経験や知識などからくる人生観から生まれます。それは成長するにつれて徐々に培われていくものです。自分の立場を理解ししっかりとした主張ができることは大事なことです。と同時に、他人の立場も理解し尊重することも重要なことです。社会に巣立つ前にいろいろな考え方に触れて、自分の立場や相手の論理を理解するきっかけにしましょう。	なし	中学校・高校 全学年		○	○	50分授業または50分授業を連続2回 (プロジェクターおよびスクリーン) ※プロジェクターは持参も可能
47	共通教育【数学】	井上 昌昭	数学	立体の作図	透明なプラスチックフィルムでできた立体を見ながら、立体図の描き方を説明する(グループで立体の作図をさせる)。立体を見ながら、立体の性質を説明する。	なし	小学生高学年 中学生	○	○	○	50分授業または50分授業を連続2回 (グループによる作業ができる教室を希望)
48	共通教育【数学】	井上 昌昭	数学	多面体の数理	多面体の立体模型を見て、多面体の性質を見つけ、そのことから正多面体が5種類しかないことを導く。	なし	中学校3年生 高校1年生		○	○	50分授業または50分授業を連続2回 事前課題は要相談
49	共通教育【数学】	井上 昌昭	数学	地球の半径を測る	扇形の中心角・半径と弧の長さの関係式を使って、古代の学者エラトステネスが行った地球の半径を測る方法を解説する。北回帰線・夏至等の言葉を説明し、角の弧度法表示の練習をして、半径の計算方法を説明する。	なし	高校1・2年生			○	50分授業または50分授業を連続2回連続2回 の場合は地動説の歴史も紹介する
50	共通教育【数学】	井上 昌昭	数学	指数対数の話	指数関数や対数関数が現実に使われている例を紹介する。ギターの弦の長さや音階、星の明るさと光の量、酸性・アルカリ性と水素原子の指数、地震のエネルギーとマグニチュードの関係を説明する。	なし	高校2年生			○	50分授業または50分授業を連続2回事前課題は要相談
51	共通教育【数学】	井上 昌昭	実験数学	偶然の中の規則性	サイコロ投げの実験を通して大数の法則が成り立つことを経験させ、二項分布や正規分布を体感させる。正規分布の応用としてデータの標準化と偏差値の原理を説明する。	なし	高校1・2年生			○	50分授業または50分授業を連続2回連続2回 の場合はサイコロ投げの実験をする。
52	共通教育【数学】	井上 昌昭	数学	相関係数の数理	散布図の相関を調べるための数学的原理を説明する。まず歴史的な経緯を紹介し、回帰直線、最小2乗法、相関係数、決定係数等を解説する。	なし	高校1・2年生			○	50分授業または50分授業を連続2回事前にアンケートをお願いすることもある。
53	共通教育【英語】	長崎 政浩	英語	小学生も楽しめる素敵な英語絵本の世界	英語で書かれた絵本を楽しむ時間です。平易な英語での読み聞かせをとおして、とても素敵で心あたたまるストーリーを楽しみましょう。	なし	小学生	○			45-50分1時限。読む本は持参します。冊数に限りがあるので、クラス単位の実施が望ましい。
54	共通教育【英語】	長崎 政浩	英語	中学生のための英語リーディング・ワークショップ	平易な英語で書かれた絵本を読んで、すてきな物語の世界に触れることのできるブック・クラブを中心としたワークショップを体験します。	なし	中学生		○		50分1時限または2時限。読む本は持参します。冊数に限りがあるので、クラス単位の実施が望ましい。

令和3年度 訪問教育テーマ一覧

※●は教員対象

講座番号	教員の所属	教員名	分類	タイトル	概要	実施回数制限	対象	小	中	高	備考
55	共通教育【英語】	長崎 政浩	英語	高校生のための英語プレゼンテーション入門	プレゼンテーションは人と人をつなぐとても重要なスキルです。現代社会では、ビジネスの世界だけでなく、地域社会や学校などでも、不可欠なものとなっています。世界で注目されているプレゼンテーションの達人に学び、英語プレゼンテーションの基礎を学びます。	なし	高校生			○	50分×2時限で1セット。概要だけの場合は1時限でも可。P C, プロジェクター, スクリーン（ない場合は持参します）。
56	共通教育【英語】	長崎 政浩	英語	英語科授業研究ワークショップ	同じ職場の仲間が、エンパワーしあえるワークショップ形式の校内研修を一緒に作りあげませんか。ビデオ収録した授業（あるいは公開授業）を題材にして、お互いの授業力を高めあい、教科としてのチーム力を高めるワークショップを行います。	なし	小中高英語科 教員	●	●	●	・2時間程度 ・複数校合同による実施も可能。 ・ワークショップのテーマや企画・運営方法を相談する担当者の方をお知らせください
57	共通教育【心理学】	村上 達也	心理学	心理学って何だろう？	心理学に興味を持つ生徒さんは多いと思います。しかし、心理学については、メディア等を通じた曖昧なイメージしか持っていないことが多く、誤解の多い学問であるとも言えます。この訪問授業では、実際の心理学の研究を紹介し、実証的な方法論に基づく心理学はどのようなものであるのかを紹介します。実際に、簡単な実験を行うことで、「人の心」をどのように捉えるかを体験してもらうことが目的です。	なし	中学生高校生		○	○	50分 スクリーンとプロジェクターが必要。
58	環境理工	田中 誠司	理科生物	今こそ知っておきたい DNA・遺伝子のはなし	コロナウイルスの流行で「PCR」という言葉を聞かない日がなくなったように、DNAや遺伝子に関わるテクノロジーは、私たちの日常生活においてどんどん身近なものになっています。そのような技術が私たちの日常にどのように関わり、世界をどう変えていくのかについてお話しします。	全部で4～5回程度	高校生		○	○	50分 スクリーンとプロジェクターが必要。